

3 教育に関する学識経験者の意見

1 意見提出者

教育委員会が行った点検・評価の結果に関して、次の2名の学識経験者から意見及び助言をいただきました。

岩田 博明（元江別市立江別第三中学校校長）

藤田 昌之（江別市社会教育委員）

2 意見及び助言

第6次総合計画の取組状況を基に、本年度は、「市民スポーツ活動の充実」に関する事業について点検・評価を行いました。

約3年間続いたコロナ禍では、多くの事業を停止あるいは縮小せざるを得ない状態が続き、イベント参加者や施設利用者等が減少していましたが、この度の評価作業において、ようやく以前の状況に戻ってきていることを確認しました。

市民スポーツ活動充実のための様々な事業は、子供から高齢者までを対象にした、誰もが健康で生きがいのある生活を送るための大切な取組です。昨今、子供の運動習慣の二極化が指摘されています。子供の頃からスポーツに触れることで大人あるいは高齢者になってもスポーツや運動に親しみを持つ生活ができ、ひいては健康寿命を延ばすことにつながるものと考えます。

江別発祥の生涯スポーツであるグリーンボールをはじめとして、江別市としての特色や魅力のある、また、親しみの持てるスポーツ競技のほか、子供を主役としたスポーツ交流や大会等の取組を充実させていただきたいと思います。

教育行政を推進するためには、保護者や地域の方々との連携・協力が不可欠です。そのためには、江別市教育委員会の取組を知ってもらうことが大変重要であると考えますので、様々な機会を通じて、より一層、わかりやすい情報発信に努められるよう期待いたします。

以下、それぞれの基本事業に着目しながら、意見等を申し上げます。

【市民スポーツ活動の充実】

- ・ 学校プール開放事業は、学校の夏季休業期間中に学校プールを開放し、水泳に親しむ機会を提供するものであり、子供たちにはプール利用により健康増進や体力向上に努めてほしいと思います。コロナ禍でプール開放ができない時期を経て、利用者も増加傾向にありますが、まだコロナ禍前の数字まで回復していないようですので、開放日数を増やすなど、子供たちの利用促進を図る工夫をしながら事業を続けてほしいと思います。

また、本年、管内でプールでの事故が発生しておりますので、引き続き監視体制や水質管理などに十分留意し、子供たちの安全確保に努めていただきたいと思います。

- ・ 体育施設開放事業は、土曜日に小学校の体育館等を利用して自由なスポーツに供することができる点で、特にスポーツ少年団等に参加していない子供たちにとって大変良い事業だと思います。

また、市民のスポーツクラブが小中学校の体育館等を利用できる社会人体育団体学校開放事業についても、その利用人数の多さからスポーツ振興に十分寄与しているように思います。

反面、利用者数が多くなると利用者の調整や施設使用の経費負担などの課題も多いと思います。引き続き、市民に対して暖房料金の負担などについて理解を得ながら取組を続けていただきたいと思います。

- ・ 屋外体育施設管理運営事業については、現在、管理運営の対象が屋外スケートリンクの1か所のみとなっています。スケートリンクの維持管理は、それだけでも大変な事業だと思いますが、一般的なスキー場のない江別市の子供たちにとって、身近にウインタースポーツを楽しめる場所ですので、是非、事業を継続し、維持していただきたいと思います。

一方で、以前と比較して利用者が減少しているなど費用対効果が課題と感じます。PRや周知方法を更に工夫して利用者増に努めていただき、ウインタースポーツが活性化することを期待します。

- ・ スポーツ少年団補助金と江別市スポーツ協会補助金については、スポーツを行う青少年等の増加や、指導者の育成に努める各団体にとって必要なものであり期待も大きいと思いますので、可能な限り支援していただきたいと思います。特にスポーツ少年団については、各家庭の経費負担が減ることで加入しやすくなることも考えられます。この取組を一助として子供たちがいろいろなことを経験し、可能性が広がることを期待します。

また、同様に、全国大会等開催補助事業、スポーツ大会等振興補助事業についても、市民のスポーツ振興を図ることを目的とする関係団体にとって必要なものですので、削減することなく支援を続けてほしいと思います。

- ・ 指定管理者による管理運営が行われているあけぼのパークゴルフ場、森林キャンプ場及び屋内体育施設は、利用者数が多く、各施設とも適切な維持管理が行われていると推察します。

特に、あけぼのパークゴルフ場について、近年、コースの増加や熱中症対策のための冷房設備の設置などを行い、利用環境の整備に努めていることは高く評価できます。施設の古さなど改善が必要な点も見られますが、江別市内のパークゴルフ場の閉鎖が続く中、唯一という意義深い場所ですので、利用者の声を生かしながら更に改善を図り、より良い施設となるよう期待します。

また、森林キャンプ場については、残念ながら、昨年は熊の目撃情報により8月以降閉鎖となり利用者数が減ったと聞いております。熊のみならずスズメバチなどの危険もありますが、子供たちが自然と触れ合える場所を提供する大切な事業ですので、利用者に対する注意喚起と安全確保に十分留意しながら維持していただきたいと思います。

- ・ スポーツ普及奨励事業として、スポーツ大会に出場する市民の経費負担の軽減を図るためのスポーツ大会出場奨励金の交付や、スポーツ競技で優秀な成績を収めた選手への青少年スポーツ賞顕彰の実施によりスポーツの振興を図っていることについて理解を深

めました。支出が増えていますが、全道、全国大会の出場者やスポーツ賞等の受賞者が
増えていることは喜ばしいことと思います。

特に、奨励金の交付について、全道大会や全国大会の出場には小中学生及びその保護
者に大きな経費負担が生じることから、その解消のためにも重要な取組と考えますので、
事業継続を期待します。

- ・ 地域スポーツ活動活性化促進事業、総合型地域スポーツクラブ支援事業は、子供から
高齢者まで幅広い世代を対象に、様々なスポーツやレクリエーションに親しむ機会の充
実を図ることを目的とした事業であることが理解できました。

地域スポーツ活動活性化促進事業の軽スポーツのメニューのうち、江別発祥の生涯ス
ポーツであるグリーンボールについては、なかなか競技人口が伸びていないのではない
かと感じています。この事業で、学校や自治会などで定期的にグリーンボールをプレイ
してもらえると認知度も広がるのではないかと思いますので、グリーンボールをはじめ
とした軽スポーツ等の普及啓発に努めていただきたいと思います。

- ・ 近隣市との交流事業の一つである3市交流スポーツ大会開催事業については、現在、
スポーツ部門での交流がパークゴルフのみであることをはじめ、多くの市民が参加して
いることや経費負担が少ないことなどを考慮すると、継続実施が望ましいと考えます。

競技者同士の親睦を深めるとともに参加者の健康増進等につながる良い機会だと思い
ますので、更に多くの市民が参加できるよう広く周知に努めていただくとともに、本事
業をはじめとして、特に小中学生ほか若い世代が近隣市と交流できる機会の提供に努め
ていただきたいと思います。

- ・ スポーツ合宿誘致推進事業では、現在、スポーツ競技の日本代表やプロスポーツ団体
など、いわゆるトップアスリートの合宿誘致を行っている伺いました。トップアス
リートとの交流は、市民のスポーツへの関心を高める大変有意義なものと思います。今
後も、学校やスポーツクラブとの交流機会の増加など、より充実したものとなるよう期
待します。

- ・ 特別支援学校フットサル大会開催事業、高校総体北海道大会開催事業については、い
ずれも江別市内で開催された全道、全国規模のスポーツ競技の大会運営を支える重要な
役割を担うものであり、多くの参加者や観客が訪れたことは高く評価できます。

市民スポーツ活動を支援する様々な事業がありますが、特別支援学校フットサル大会
開催事業のように、障がい者の支援を中心とした事業は多くないと思います。障がい者
支援について今後も是非実施していただき、多様な主体がスポーツに取り組める環境づ
くりを努めていただきたいと思います。